

【科目名】園芸療法における植物の利用		
【期 別】前期（4～8月）	【区 分】必修	【種 別】講義
【単位・コマ数】2単位・15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○横田 優子（5）		○は成績評価者
【分担教員】○毛利 ユカ（5） ○星川 雅子（5）		○は成績評価者
【授業のねらい】 園芸療法を行う上で必要な、植物の利用に関する知識・技術を身につける		
【担当教員】	【授業予定】	
毛利 ユカ 6/25（土）1-5限	創造活動における基本注意事項。 施設における園芸療法のクラフト活動を学ぶ。 ・活動の演出方法、様々な工夫 など ・クラフトの準備～年間計画 ・クラフトの実習 ・活動の演出方法、様々な工夫 など	
星川 雅子 7/6（水）1-5限	植物（ハーブ）の利用〔園芸療法における利用方法を考える〕 ≪1 限≫ 利用しやすいハーブの特徴について ・知っておきたいハーブの使い方、ハーブの楽しみ方 ≪2 限≫ ・ハーブの剤型と種類・精油の剤型と種類について ≪3 限 ≫ ・植物の恵みを生かす技・方法について ・ハーブの有効成分が吸収される経路について ≪4・5 限≫ 精油成分の分類と主な作用と特徴について 1. 7タイプの精油の香りと精油のノートについて 2. ハーブの芳香（アロマ）療法（セラピー）について	
横田 優子 7/13（水）1-5限	園芸療法のセッションの中で、クライアントに植物の美しさに触れ、魅力を感じながら、作品づくりの楽しさを味わっていただけるよう、必要な知識・技術を学ぶ。 園芸療法セッションにおける植物選びのポイントを学ぶ。 ≪1・2 限≫ ・色彩の基本的知識・心理的効果 ・植物と色彩 ・寄せ植え（スライド中心に実例を紹介） ≪3 限≫ ・フラワーアレンジメント（実習中心） ≪4・5 限≫ ・押し花（スライドと実習） ・リース（スライド中心に実例を紹介） ※授業では現場での作品づくりの様子、クライアントの表情なども紹介します。 ※アメリカにおけるプログラムの具体例もいくつかご紹介する予定です。	
【購入図書】		
毛利 ユカ：	・「高齢者のリハビリ 園芸クラフト」 （監修IHT登坂ユカ、（株）QOLサービス、2009年8月、2,000円）	

【参考図書】	
横田 優子：	・「花色レッスン&コーディネートBOOK」 (中山正範・室谷優二著、主婦の友社、2006年、1,365円) ・「花育親子で楽しむ花アレンジメント」(谷川圭子著、ブティック社、2008年、1,200円) ・「NHKおしゃれ工房 暮らしの押し花」 (柳川昌子著、日本放送出版協会、2005年、1,500円＋税)
星川 雅子：	・「ハーブと精油の基本事典」(林真一郎、池田書店、1,900円) ・「ハーブの育て方145種」(桐原春子、成美堂出版、1,300円) ・「ハーブの花図譜(カラーチャート)」 (星野登志子(絵)／桐原春子(解説)、成文堂新光社、2,500円)
【予習課題】	
毛利 ユカ：	① ご自分が園芸療法士として活動することを念頭に既存のクラフトを1点探してください。既存のクラフトは購入図書だけでなく一般書などからでも結構です。 ② 下記の点をレポート(A4サイズ1枚)にし、<u>6/10</u>までにTAにメールにて提出してください。 ●上記クラフトを行う対象者の設定(健康状態、疾患・障害、気持ちなどを考えて記載) ●クラフトの大まかな内容(絵・写真があると分かり易い。出典・HP URLを明記) ●上記クラフトを想定した対象者に行う場合の良い点や課題、工夫として考えられることなど なお、試作品がある方(あれば)は授業に持参して下さい。
横田 優子：	① PCCS色相環*の色相の配列を覚えておく。 ② 色の3属性(色相・明度・彩度)についてまとめておく。 ③ 所定(配布)の様式に従い、植物の特性を分類しておく。(提出期限：<u>6/12</u>までにTAへ) ④ 学校内／身近な植物で押し花を作っておく。(3～5種類程度：授業の実習で使用します)
星川 雅子：	レポート(A4サイズ1枚) 有用植物(ハーブ)について(他の植物と比べた時、どのような作用、効能の違いがあるのか、自分の考えをまとめてください)(提出期限：<u>6/30</u>までにTAへ)
【成績評価の方法】	
横田 優子：	出席、授業態度、予習課題、実習作品、講義後のレポート、演習により総合的に評価します。 (※課題は講義後にお知らせします)
毛利 ユカ：	出席、授業への参加意欲態度、レポート内容、ディッスカッション時の発想力、企画力など総合的に評価します。(※課題は講義後にお知らせします)
星川 雅子：	出席・授業への参加意欲・態度・レポートの内容・発表時の発想力などを総合的に評価します。
【受講生への希望】	
横田 優子：	単なる知識・技術の習得にとどまらず、皆さん自身が楽しむことが大切です。いろいろな雑誌や植物図鑑、カタログ等をめくって、植物、色、クラフトアイデアなどについて、イメージを膨らませておいて下さい。現場でのセッションのようすもスライドで紹介しますので、作品づくりのノウハウだけでなく、クライアントの反応、場の雰囲気などからも学んでいただきたいと思います。 単なる知識・技術の習得にとどまらず、皆さん自身が楽しむことが大切です。いろいろな雑誌や ・ 予習課題の植物の特性分類に関しては事前にT/Aに提出 ・ 押し花は授業当日持参して下さい。実習に使用します。 ・ 色彩に関する課題は事前提出の必要はありませんが、授業の中で確認しますので、しっかり予習しておいてください。 ※参考：PCCS: 日本色研配色体系 (Practical Color Co-ordinate System) 内容的に盛りだくさんになっています。積極的な授業参加で理解を深めて頂きたいと思います。
星川 雅子：	園芸療法活動時に、学習したことが創意工夫することで役立った事(知識・技術・相家との関係)などを紹介してみして下さい。その他、植物図鑑・ハーブ図鑑などを参考に、色々なイメージを膨らませて発想力や企画力を身につけられるよう、努力して下さい。